

令和6年度九州地域飼料増産研修会

～電牧は畜産を救う～

第1部 獣害に関する勉強会の概要

○第1部 獣害に関する勉強会

日時：令和6年12月12日（木）9:45～12:00

場所：小林市文化会館会議室及びTeamsによるオンライン研修

概要：

九州地域における飼料作物の獣害対策を推進するため、九州農政局は、家畜改良センター宮崎牧場及び日本草地畜産種子協会との共催により、「電牧は畜産を救う」と題し、獣害に関する勉強会を小林市文化会館で開催しました。

最初に、鹿児島大学の高山先生から、牧草等に被害をもたらすシカ・イノシシの習性やそれらを踏まえた効果的な獣害対策等についてご講演いただきました【資料1】。



高山先生の講演

続いて、日本電気さく協議会の赤井さんから、電気さくの仕組みや設置のポイント及び設置の失敗事例等についてご講演いただきました【資料2】。

さらに、九州沖縄農業研究センターの池田先生から、九州の牧草地における獣害の事例と牧草地を電牧の効率的な管理方法等についてご講演いただきました【資料3】。さらに、電牧の効率的な管理に有効な乗用型草刈り機について、(株)オーレックの秋山さんからご説明いただきました【参考資料1】。

その後、情報提供として、農政局から鳥獣害対策に活用可能な事業の説明を行いました【資料4】。

最後に、日本草地畜産種子協会の高橋さんから、同協会の飼料増産の取組や放牧の推進等についてご説明いただきました【資料5】。

今回は、農家や民間企業、県・市町村関係者及び農業関連団体等多くの方にご参加いただき、オンラインを含めると約100名となりました。本研修会が、九州地域における獣害対策推進の一助となれば幸いです。



勉強会の様子